NIE実践報告

1．タイトル：☆個人新聞作成

2．学校名

熊本県立八代高等学校

3．実践者名（代表者名）

伊高　浩史

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

情報A･現代社会　282人

6．単元（本時の学習課題）名

ワープロソフトを利用しての情報の統合

7．目標(狙い)

(1)興味を持った新聞記事を要約し、レイアウトを考えながら作成を行う。
(2)見出しの作成、画像の取り込みを行い、閲覧者の立場に立った新聞を作成する。

8．評価の視点

見出し、本文、画像等のレイアウトを考えながら作品が完成されているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

ワープロソフトを利用した情報の統合･発信(8時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

･ワープロソフトの使い方をマスターする。
･必要な情報を探したい場合、どのような検索方法があるか判断できるようにする。
･デジタルカメラやイメージスキャナーを利用して、画像をパソコンに取り込む。
･「現代社会」の中で収集した記事、画像等をレイアウトを工夫して、個人新聞を完成させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

普段何げなく見ている新聞ひとつであっても、自分が作成者となると、どのように表現すれば相手に伝わるのか試行錯誤している生徒が多数いたように思われる。

12．成果と課題

･成果:「現代社会」と協力して作成を行ったので、ある程度記事内容は準備できており、作成に対してスムーズに取り組むことができた。また情報の統合、発信の分野に対しても、受け手の状況を考えたマルチメディア作成ができたと思う。
･課題:生徒によっては新聞の記事内容があまり理解できてないまま作成を行い、レイアウトや画像の使い方等が的を得ていないものもあったように思われる。